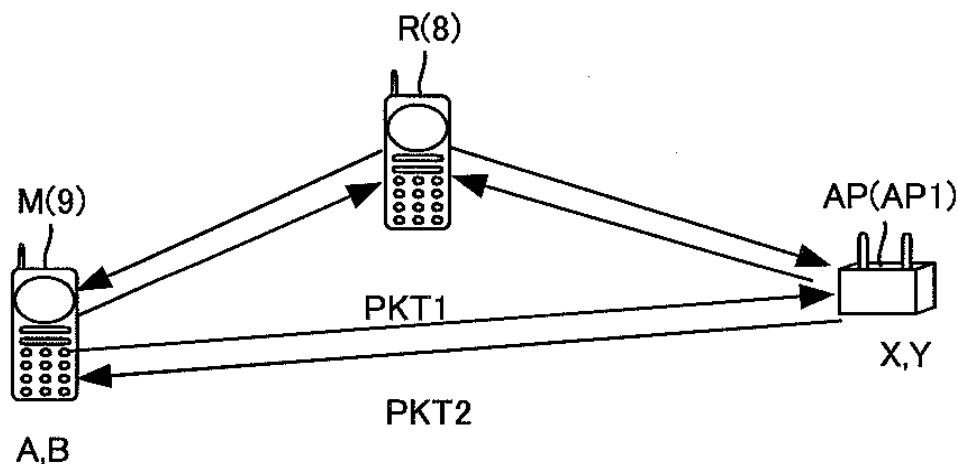


技術の名称

無線ネットワーク

適用分野 無線LAN

- 目的 本発明の目的は、無線通信における通信効率を向上せしめるところにある。
- 効果 本発明は、無線装置による通信の総合送信時間がより短い経路を選択して各無線装置とアクセスポイントとの間で通信が行われるので、無線通信空間の占有時間が短くなり、他の無線装置がアクセスポイントとの間で行う無線通信の機会が増加し、その結果、無線通信における通信効率が向上する。
- 技術概要 無線装置MとアクセスポイントAPとの間で無線通信を行っている場合、中継器Rは無線装置MとアクセスポイントAPとの間の無線通信に要する直接送信時間と、自己を介して無線装置MとアクセスポイントAPとの通信を行った場合の間接送信時間とを比較し、間接送信時間の方が短いときはその旨を無線装置MとアクセスポイントAPに通知して中継器Rを介しての通信を行う。
- 特記事項、図など



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 無線装置およびそれを備えた無線ネットワーク
登録番号
出願番号 : 特願2008-260468 出願日 : 平成20年10月7日
公開番号 :
- 実施実績 有、○無 ■ 提供形態 ○実施許諾、×権利譲渡

お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp